

Newsletter No.72

2017年4月5日

発行 レイバーネット日本

〒 173-0036 東京都板橋区向原 2-22-17-108

http://www.labornetjp.org labor-staff@labornetjp.org 電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

われわれのメディアをつくっていこう!

~レイバーネット 2017 総会でディスカッション~



ぎ、充実したディスカッションになった。

第一部では、松原共同代表から「レイバーネットも高齢化がすすんでいる。シニア中心の運動から若い世代につないでいこう」「レイバーネットTVは昨年から"責任ディレクターによるチーム制"をとったが、それによって新たな分野や人脈の広がりが生まれている。これを広げたい」「ウェブサイト報道をもっと充実させるために、撮る技術・書く技術を高める講座をやりたい」などの問題提起があった。それを受けて意見が続出。「私はむかし郵政の組合時代にアジビラをつくり毎日600字を書いて

きた」「ぼくもやはり労組でビラをつくっていたが、 大事なのはタイトル。"タイトルはピストル"と言っ ていたがタイトルで決まる」「読み手の気持ちを考 えて書くことが大事」「ネットの文章の読まれ方は これまでの活字媒体とは違う。読者は、見出しと はじめの書き出しで読む読まないを決める傾向が ある。そのへんを意識する必要がある」などなど。

ディスカッションを受けて元読売新聞の山口正紀さんは、「記事の書き方講座の講師をやってもいい。同じ取材テーマで800字くらいの記事を書いて批評しあうという方法もある」とプランを出した。ここで一挙に話は具体化。「3分間ビデオ講座」ならぬ「800字ウェブ記事講座」を近々、実現することになった。

●古今東西の「ジャーナリスト魂」に触れる

第二部の特別企画「われわれのメディアを考える」では、まず甲斐織淳さんが新作講談「三面記事の由来~公害・戦争と闘ったジャーナリストたち」を披露した。明治時代の「萬朝報」(よろずちょうほう)

<2ページへ続く>

<レイバーネット TV 番組紹介>

マスコミでは出来ない放送、新企画が目白押し

- 117 号 (4月12日)「戦後史のタブー『米軍基地と日本国憲法』~砂川事件裁判・再審請求が問うもの」。知られざる大問題。砂川闘争をたたかい、現在も被告として国家権力に立ち向かう土屋源太郎さんが生出演。沖縄問題につながる「戦後史のタブー」に挑む。企画担当=金野正晴。
- 118号(4月26日)「本の発見:『九月、東京の路上で』/「わたしを変えた一冊」アンケート紹介」。本の発見シリーズの第二弾。朝鮮人虐殺をテーマにした『九月、東京の路上で』を取り上げ、現在のヘイト問題に迫る。またアンケート14件を一挙紹介する。ゲストは加藤直樹さん。企画担当=志真秀弘、佐々木有美。
- 119 号 (5 月 10 日)「死刑問題を考える」。世界の趨勢は死刑廃止だが日本は遅々として進まない。死刑問題を根源から考えてみたい。ゲストは太田昌国さん、坂上香さん。企画担当=山口正紀・笠原眞弓。
- 120 号 (5 月 24 日)「巨大ブラック企業・日本 郵政の実態」。40 万人が働く日本郵政の半分は非 正規労働者。そこでは差別・いじめ・過労死が蔓 延している。昨年「ブラック企業大賞特別賞」となっ たマンモス企業に迫りたい。企画担当=土屋トカ



レイバーネットTV 114 号「韓国サンケン労組」

チほか。

- 121号(6月14日)内容未定。
- 122 号 (6 月 28 日)「日中戦争 80 年 安倍は無 視するが私たちは考えよう」。ふたたび日中の間 でキナ臭いムードになっている。今年は日華事変(7 月 7 日) 80 周年の年。しっかり歴史をみることが 戦争を防ぐ道だ。企画担当=植松青児。
- →今年のレイバー映画祭は7月22日(土)田町 交通ビル6Fホールです。いまから予定に入れてく ださい。

<1ページ上段より続き>

をめぐる興味深い話に、参加者はどんどん引き込まれていった。とくに足尾鉱毒事件の田中正造天皇直訴事件の話が面白かった。天皇に直訴した田中正造はその場で捕まってしまうが、幸徳秋水らはあらかじめ直訴状のコピーを準備し、逮捕と同時にそのコピーを全新聞社に配布した。そのためあっというまに全国に情報が流れた。政府が一番隠したかった「直訴状」の中身が、全国民に知れ渡ったのである。これで足尾鉱毒事件の世論は沸騰することになり、幸徳らジャーナリストの「作戦勝ち」だった。

もう一つの報告は、「パククネ退陣闘争と韓国メディア」(安田幸弘)だった。安田さんは、マスコミやネットメディアが連携してパククネを追いつめていった過程を語った。当時若者にブレークしていたポッドキャスト番組も活躍したという。そして最も重要な役割を果たしたのが、キムソッキというケーブルTV(JTBC)のキャスターだった。かれが崔順実スキャンダルの動かぬ証拠「タブレットPC」を暴露した。キムソッキはもともとMBCの

労でこた飛でとるスいのやをに出軍信として頼一日筑動たるこたもさナ本紫家い」を入っれりで哲



也みたい人)という。

たたかいとメディアはクルマの両輪と言われるが、明治時代の「萬朝報」そして韓国のメディアから、改めて教えられた。なぜ今の日本のマスコミはだめなのか。日本と韓国とのマスコミの違いを問われて、安田幸弘さんはこう答えた。「韓国では会社に対する一人ひとりの記者の自立意識が高いと思う。ジャーナリスト魂がある」と。メディアやジャーナリストはどうあるべきなのか、大いに刺激を受けた総会になった。(なお総会第一部の会計報告は下段。運営委員は前年度のまま引継ぎました。)

<レイバーネット 2016 年度会計報告>

2017年3月18日 会計監査 下見 会計年度 2016年1月1日~12月31日

[基本財政]

●収入

会費(343 件)	1,041,000円
カンパ	403,000 円
雑入(グッズ、参加費)	27,317 円
事業収入(本、DVD)	30,500円

小計 1,501,817円

●支出

ニュースレター印刷費・発送費

	338, 160 円
会議・取材交通費	308, 260 円
郵便・宅配	38,908 円
運搬タクシー	20,140 円
会場費	36,950 円
送金手数料	29, 140 円
消耗品文具	17,045 円
謝礼(講師・依頼原稿など	ビ) 35,000 円
JCA-NET サーバー	180, 300 円
事務所維持費(月2万円)	240,000 円
国際部活動費 (翻訳)	72,000 円 + 1080 円
技術部ウェブ管理費	72,000 円 + 432 円
備品類(高幣扱い)	90,550 円
維費	5, 263 円
臨時支出(弁護士謝礼、服	宛章) 46,224 円

小計 1,531,452円 ★基本財政 △ 29,635円 (a)

[特別会計]

●レイバー映画祭 2016

収入 378,568 円 (参加費・チケット・カンパ・物販含む) 支出314,770 円差引63,798 円 (b)

●レイバーフェスタ 2016

収入 341,500円 (参加費・賛同金・チケット) 支出 290,384円 (チラシ印刷・映画代) 差引 51,116円(c)

●レイバーネット TV

収入 TV サポーター会費 100,000 円 カンパ雑入 39,000 円 小計 139,000 円 支出 放送一式 16 回分 426,800 円 (会場費・出演謝礼・運搬費・スタッフ費など) 打合せ・機材関係その他 18,361 円 小計 445,161 円 差引 △ 306,161 円 (d)

★ 2016 年度の決算

(a) + (b) + (c) + (d) = △ 220,882 円 ★ 2015 年度よりの繰越 490,017 円 差引残高 269,135 円

<会費の前納・B 会員への切替・カンパのお願い>

レイバーネットの財政状況ですが、創立以来17年になりますが黒字基調で、借金ゼロで推移してきました。しかし近年レイバーネットTVなど活動範囲が広がり、昨年度は約22万円の赤字になりました。実際はもっと厳しい状況でしたが、昨年秋に呼びかけた特別カンパが31万円が集まり、それでしのぐことができました。しかし今後のことを考えると、より安定した財政基盤が必要です。そのためにお願いしたいのが滞納会費の納入、会費の前納、カンパ、そしてA会員(年3000円)からB会員(通常+TVサポート=年5000円)への切替です。年5000円のB会員(現在60名)が100名を超えれば大分楽になります。ぜひ会員のみなさんのご協力を切にお願いします。(事務局)

フランス便り~「極右政党」の台頭に危機感

辻 俊子 (フランス在住会員)

大統領選挙投票日まで1か月を切ったフランスでは、これまでの大統領選に比べて支持率の変化が激しい。

世論調査によると、私の応援する「屈服しないフ ランス」のメランション候補が支持率を14%と伸 ばし、社会党候補アモンを抜き、保守党候補で汚 職疑惑を抱えるフィヨン候補に迫りつつある。し かし約25%でトップにいるのは、右でも左でもな いと自称するマクロン候補と極右政党「国民戦線」 のルペン候補であり、極右政党が政権を握るかも しれないと危惧を語る人もいる。日本には「国民 戦線」のような極右政党はあるのかと聞かれると、 「日本会議」という右翼組織が日本にはあって、国 会議員はもとより、首相をはじめ、現内閣の半数 以上がこの会議の会員であり、つまり右翼政党は 自民党の内部にあるのだ、とため息まじりに説明 する事になる。すると安倍首相の顔が「国民戦線」 の女性党首マリン・ルペンやトランプ大統領の顔と 重なるようで、沈黙で暫く会話が途切れてしまう。

今日本では森友学園問題が論議をかもしているが、子供たちにあの教育勅語を学ばせていたという事実、土地のただ同然の売買に首相夫人が関与



していた疑い等が発覚しても、さらには安倍首相の説明に納得できない人が60%以上いても、内閣支持率は依然50%を保っている。これは「日本会議」の内部問題でしかないと思われているからだろうか。内閣支持率が下がれば、安倍の退陣はありうるだろう。そのためには福島、沖縄に連帯し、共謀罪法案等に反対する市民運動と、それを追ってしっかり報道する、メディアの存在が重要であろう。(写真は「屈服しないフランス」のデモ・撮影=Christian Fonseca)

『労働情報』創刊40周年~形を新たに生まれ変わる

レイバーネットの会員にも購読者が多くいる『労働情報』。40周年を迎える4月を機に、月刊化を遂げ体裁も新たになった。今月号を手にする読者は驚くこと必至。私を含む編集スタッフでさえ、月刊第1号を見て、その変貌に大はしゃぎしたほどだ(笑)。

労働組合の組織率が減少を続け、中心的な読者が次々と退職を迎えるとともに定期購読中止の依頼は止まるところを知らない。紙媒体には厳しい時代にあり赤字が続く中でも、大胆かつ劇的に編成しようと決意したのは、数少ない労働業界誌の重要性は無視できず存続させなくてはならないと思ったからだ。

これまでも労働運動とともにあった『労働情報』が、これからも働く仲間が刺激しあえるコミュニケーションツールとなり、職場闘争や裁判闘争の学習資料となり、労働運動を盛り上げる伴走者となるよう願いを込める。

「自分は労働していないから」と関連性を見出せない方もいるかもしれないが、見渡せば、友人や兄弟姉妹や、子や孫にも労働者がいるはず。身近な人たちが直面する問題や課題をともに考えるだけでなく、職場自慢(社食のメシがうまい!とか)や仕事の誇りなども紹介できる場を提供できれば

松元 ちえ



と思っている。

各方面からの多くの仲間の協力と、多少の(?) 犠牲の末にたどり着いたカラー表紙全40ページ の『労働情報』。生存が決まるのは、この一年ほど が勝負。このレイバーネットニュースレターがメ ンバーのもとに届くと同時に、定期購読の注文が 殺到すると期待しつつ(笑)、これからも働く仲間 を主役とした紙面を届けたい。(『労働情報』編集人)

新会員紹介

●平和、自然、そしてフォーク 高橋伸行

北海道はサロマ湖の畔にある郷里から18歳で大 学進学のために上京して以来、四十数年。田舎者の 私が都会の生活に馴染んで、なんとかこれまでやっ て来れたのも、高校時代にギターを持って歌い始 めたフォークソングがあったからなのかもしれま せん。何かのきっかけで出かけていった 1973 年の 第1回東京・奥多摩うたの里フォークキャンプ(75 年4月30日のサイゴン政府陥落のニュースを第3 回うたの里で聞く)、同年に結成された東京フォー クソング連絡会議への参加など、刺激的な日々だっ た。80年代中頃には自然消滅していった東京の フォークソング運動の合言葉は「平和、自然、そし てフォーク」。しばらくのブランクを経て、今もそ のキーフレーズを思い起こしつつ、ウディ・ガス リーのメッセージ「This Machine Kills Fascists」 にある machine = ギターを日常の武器に、多くの フォークソング仲間らと憲法や沖縄、差別や格差、 環境問題などを捉えて、ラブソングやプロテスト ソングをシャウトする機会をつくっています。

●現場に根差した研究者めざして 笹木涼子

私は大学院生で、非正規雇用、女性労働、ジェン ダー、アンペイドワーク、ケア、労働組合などをキー ワードに研究しています。低賃金、不安定雇用や長 時間労働に苦しみながらも職場にも労働組合にも 包摂されず漂流する労働者、家庭責任分担の不平 等、有償労働におけるケアの質の確保・向上と社 会政策・労働運動の役割に着目して、生きやすく 働きやすい社会にするためにはどうしたらよいの か、研究者として運動と連携しながらできることに 尽力したいと考えています。運動の現場に根差し て全てを考えなければ何も分からない分野なので、 レイバーネットの皆様の活動から様々な情報と刺 激を受けられることと思っております。なんとか 社会に貢献できる研究者になれるようにと日々模 索し奮闘しているつもりです。どうぞよろしくお 願いいたします。

●朝鮮半島・北東アジアに関心あり 金子通

初めまして。金子通(かねことおる)と申します。 私の関心は、朝鮮半島をはじめ北東アジアにあります。その一方で、その関心対象は、日本の大手メディアのバイアスがかかった情報が非常に多いと感じています。まさにそれが日本の大手メディアの限界なのではないでしょうか。レイバーネットは、イベントカレンダーや韓国情報を中心に大いに活用していました。これからもいろいろなところに顔 を出したり、原稿記事も書いていきたいと思いますので、皆様これからよろしくお願いします。

●いま見てほしい映画紹介

中村富美子

ジャーナリスト、仏語翻訳、大学講師をしている



チの復帰作に共同製作者としても関わったダルデンヌ兄弟の新作『午後8時の訪問者』(4月8日より公開)。極右が台頭する欧州の「移民・難民問題」を、小さな診療所を舞台に比喩的に問う、極上の倫理サスペンスです。世界の苦痛に対し、誰ひとり責任のない者はない。それをいかに意識し、足元から行動を始めるか。静かに問いかけます。なお拙稿(「週刊金曜日」3月17日号=写真/4月8日号)にて両作品を紹介しています。

★つぶそう共謀罪法案!



政府・法務省は、共謀罪はテロリスト集団や組織 的犯罪集団が対象であり、普通の団体には適用さ れないといっていますが、これはウソです。

法案には組織的犯罪集団とはどういう集団なのかなどの規定はありません。市民団体、組合、会社などの団体のメンバーが一度共謀したと判断されればその団体は組織的犯罪集団とされます。共謀罪は思想・意見・言論を処罰し、結社=団体を規制する、現代の治安維持法です。

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 568 名 ウエブアクセス 1 日 6,000

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合や個人が全国にアピールできる絶好の場所です。

年会費 3,000円 (B会員=5,000円 通常+TVサポート) 郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本 銀行口座 東京都民銀行 小竹向原出張所 普通 55002960

入会申込用アドレス apply@labornetjp.org 電話 03-3530-8588 ファクス 03-3530-8578